

地域が活用できる 地方創生をしたい

中部経済産業局長
たかはし じゅん
高橋 淳氏



一新 転機

昭和六十三年三月、東京大学法学部卒業。同年四月、通商産業省入省（中小企業庁計画部金融課）。平成二十年七月、富士フイルム株式会社（官民交流法派遣）。二十八年八月、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長。三十年七月、経済産業政策局地域経済産業政策統括調整官。三十年十月、中部経済産業局長。

【名古屋は初】当地域に業務などで来ることでも少なく、今回が初めてと言えるほどです。大学に入ってから、名古屋の人に対しては総じて「穏やかな人」という印象を持っていきます。

【官民交流】官民交流で富士フイルムに出向したことがあります。非常に良い会社で、とりわけ研究者が自由闊達に研究を進めていたのが印象的です。それまでは、流通やマクロ経済などに携わっており、ものづくりの現場に業務で関わられたのは初めてでした。日々話を聞いて公務員と民間企業の方の「物の見方」の違いを感じられたのは貴重な経験だったと思います。

【街歩き】街を歩くのが好きです。流通政策などが長かったこともあり、商店街などをよくブラブラしていました。名古屋は初めてです。嬉しくて週末などに気分転換も兼ねてあちこちを歩いています。

まだそれほど多くの地域には行っていませんが、大須は非常に面白いと感じました。賑わっている

と言われる商店街でも行ってみるとそれほどでもないことが多いのですが、私は夕方ごろ行きましたが人も多く、飲食店もバラエティに富んでいるところがいいですね。

【歴史がある】この地域には歴史の厚みがあるように思えます。歴史の積み重ねに伴うストーリーを持つ場所や建物などが多く存在しています。

物語を創り観光資源として開発するには事欠かないように思えます。それらをコーディネートし、組み合わせることでより多くの人を集めることができるのではないのでしょうか。

【地方創生】近年は地方創生の業務を担当していましたが、東京から見ていた地方創生でした。本当にそれが地域の方から見えて使えるものになっているかを検証したい。

ものづくりは今まで通り支援しつつ、何がこの地域のコンテンツになるのかを足と目で見えて、考え、発信していきたいと思えます。